

地域課題に向き合い事業構想力を育成する実践講座

ネクスト地域イノベーター養成プログラム

募集要項

開講日程

2023年9月23日（土）～2023年1月27日（土）

10:30～17:50

（土曜開講※一部日曜日開講あり）

会場

事業構想大学院大学 仙台校 他

（オンライン同時中継）

応募締切

第1次：8月25日（金）

第2次：9月8日（金）

第3次：9月18日（月）

受講料無料



学校法人 先端教育機構

事業構想大学院大学

[1] 今 求められているネクスト地域イノベーター人材とは？

地域課題に向き合い新たな価値を発見し、 新たな事業アイデアを構想し、実行できる人材が必要

コロナ禍の継続やウクライナ問題など、世界はこれまでの延長線上では判断できない予測不能な時代—VUCAの時代に突入しています。他方、日本企業は、人口減少や長期間にわたる経済の低成長・低迷、地方部の明らかな衰退などが進展しており、新たな事業モデルの構築が急務な状況となっております。

また、多くの企業は、SDGsを経営戦略の中心に据えており、ESG投資の流れも相まり地域課題の発見とその解決方法の提示は、新たな収益の種として重要視されてきています。

更には、メタバースやデジタルツイン、Web3.0といった新たなテクノロジーの進展に伴い、従来の延長線上にない新たな解決方法の提示を行うことができるようになってきており、地域課題を十分に理解した上で、技術導入を進めることができる人材のニーズも高まっています。

本プログラムでは、東北6県を中心に、テクノロジーに明るく、地域課題を真正面から捉え、新たな価値を生み出し、それを地域資源として活用でき、そして行動する人材を養成します。

ネクスト地域イノベーターには、

- ①フィールドワーク力と行動力
- ②課題発見能力
- ③新たなテクノロジーの知識と活用力
- ④アイデア発想力と事業構想力
- ⑤チームワークやプレゼンテーション能力

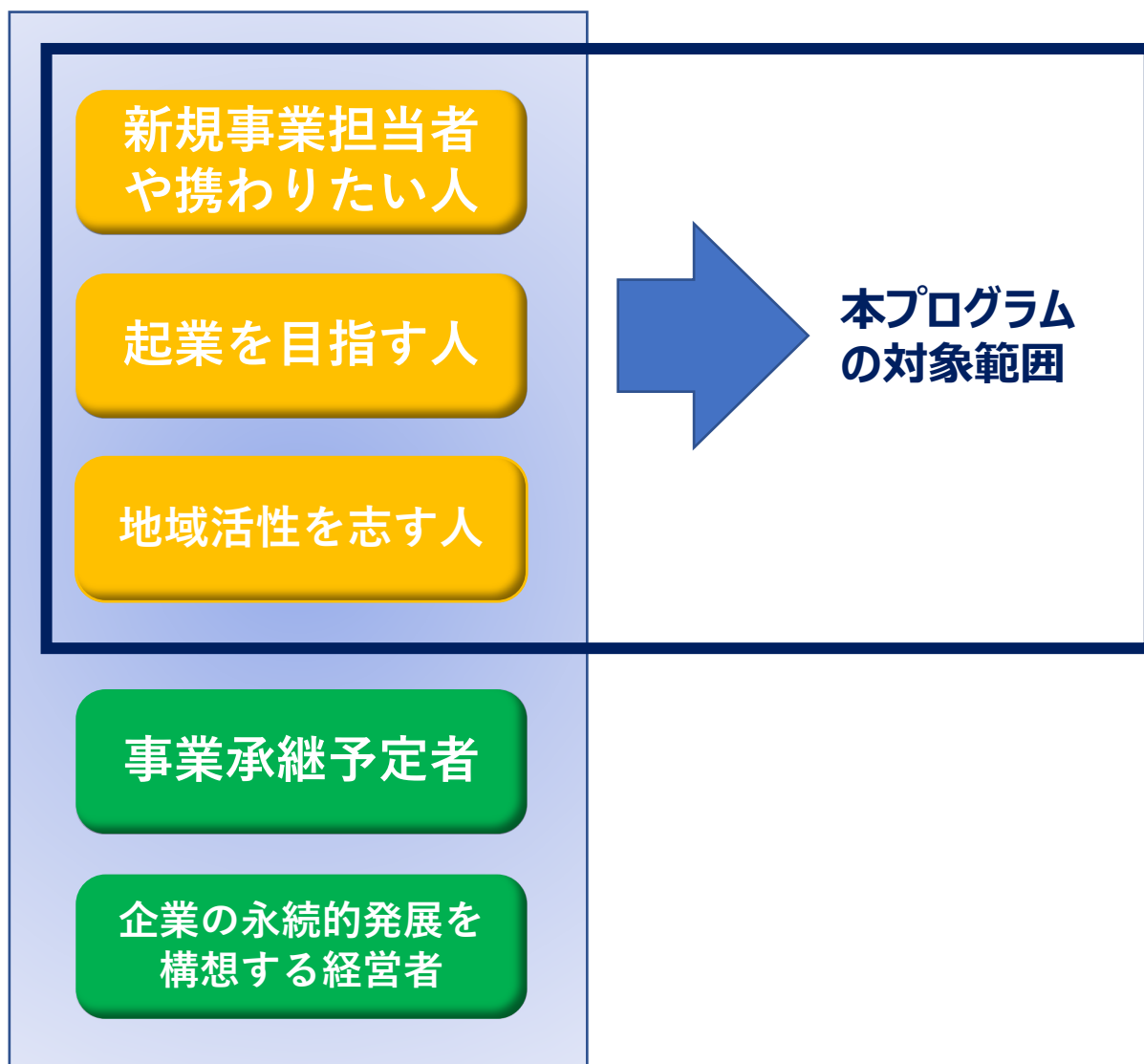
などが求められますが、その基礎力を本プログラムで身に付けます。

本プログラムで基礎的能力を身に付けて、自身のキャリアに資するとともに、本学の修士課程への進学の道も視野に置いた「事業構想プレ講座」ともいえるプログラムです。

[2] 本学が育成する人材と本プログラムの対象

本学は2012年の開学以来、主に下記の人材を育成しています。
本プログラムでは、上記の人材群のなかでも特に、
「新規事業担当者や携わりたい」、「起業を目指す」若手人材を主な対象とします。

本学が育成する人材



今回のプログラムでは、通常2年間の修士課程のプログラムのエッセンスのみを扱います。したがって、より事業構想を探求したい方は、修士課程に進学することをお勧めします。

[3] 事業構想に欠かせない要素



事業構想は、スキルではなく、クリエイティブ。

スキルとは、一定の手順を踏めば一定の成果がでるものです。新たな事業をあるメソッドで実行すれば、必ず成功するというものでは決してありません。ある程度確率を高めることはできますが、それよりもアイデアが重要です。

本学は、授業を受ければ、何かできるようになるであろう、昇進や転職に有利になるであろう、という受け身の動機の方には向いていません。単に受け身で授業を聞いているのではなく、常に能動的、積極的にものごとを吸収して、アイデアを考えていく姿勢でなければ、事業構想は実現できません。

本気になれる、つまり、何かやってみたい、それが漠然としていても結構です。事業構想には、自分がやらなければいけないという使命感が重要です。

[4] カリキュラム概要

本カリキュラムは、**守破離になぞらえた3段階でプログラム**が構成されております。

【守】 知識の習得	地域課題解決の基礎・新たなテクノロジーの理解 ■ 授業： 事業構想概論、地域活性、ソーシャルビジネス、アーティスト思考、 新たな価値構想 etc.
【破】 構想力の習得	地域課題から事業構想 ■ 授業： 対象地域でのフィールドワーク演習 etc.
【離】 本気の実践	地域課題の発見・設定及び解決アイデア・行動計画を発表 ■ 授業： 事業構想の発表 etc.

【オンデマンド科目】知識の習得

地域課題解決に繋がるオンライン講座 90分/回

カテゴリ	講義名
地域活性	地域連携スピーチ
コミュニケーション	コミュニケーションデザイン、リスクコミュニケーション
発想法	アイデア発想法、実践的収益構造の構築
事業計画	事業計画策定
グローバル	グローバルと事業構想

これらのプログラムを通して、**ネクスト地域イノベーターを養成**します。

また、本学が提供する**事業構想のサイクルを体験**することにより、様々な地域への関与をより高め、移住支援や起業・新事業・就業を促すことで**地方創生にもつなげていくカリキュラム**です。

[4] カリキュラム詳細 (その1)

- ・初回では、「事業構想概論」を通して、先の見えない時代にこそ必要な事業構想の基本的な考え方を学んだ上で、地域活性の分野で実践されている事業構想について、「地域活性と事業構想」で深掘りします。
- ・第二回では、「地域イノベーション」において、様々な地域で起こっているイノベーションの事例を通して、地域活性の本質を理解。「ソーシャルビジネス」で地域ビジネスを行う上での心構えを学びます。「アーティスト思考」「アイデア発想法」では、ひらめき脳・アイデア脳になるためのエッセンスを学び、自ら実践に移すための手法を獲得します。
- ・第三回では、「新たな価値構想」において、地域活性で活用され始めているメタバースやデジタルツイン、NFTやDAO等の基本的な内容を学び、事例を通して、活用イメージを膨らませます。
最後に「新たなテクノロジー体験・活用」を通して、実際の技術に触れ、価値のなかったものを価値化するといったことを感覚で理解します。

【基礎科目】

回	月日	曜日	場所	1限： 10時30分 ～12時	2限： 13時 ～14時30分	3限： 14時40分 ～16時10分	4限： 16時20分 ～17時50分
1	9月23日	土	仙台校 オンライン	(開講式) 事業構想概論		地域活性 と事業構想	ガイダンス オリエンテーション
2	9月24日	日	仙台校 オンライン	地域 イノベーション	ソーシャル イノベーション	アーティスト思考	アイデア発想法
3	10月7日	土	仙台校 オンライン	新たな価値構想		新たなテクノロジー体験・活用	

※対面・オンラインのハイフレックスでの実施

※敬称略。内容やスケジュールは、変更になる場合があります。

[4] カリキュラム詳細 (その2)

東北の10地域をフィールドとして、事業構想を実践している講師とともに、地域を歩き、地域の方々から直接話を聞き、その地域ならではの状況を理解、そして同じ志を持つ参加者と共に、課題解決アイデアの創出を行なっていきます。

【グループA】対象地域の指定駅で集合

月日	曜日	場所	1限： 10時30分～12時	2限： 13時～14時30分	3限： 14時40分～16時10分	4限： 16時20分～17時50分
10月14日	土	山形県米沢市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
10月28日	土	秋田県 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
11月11日	土	青森県八戸市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
11月18日	土	岩手県北上市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
11月25日	土	岩手県盛岡市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	

【グループB】仙台駅で集合

月日	曜日	場所	1限： 10時30分～12時	2限： 13時～14時30分	3限： 14時40分～16時10分	4限： 16時20分～17時50分
12月9日	土	宮城県利府町 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
12月16日	土	宮城県登米市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
12月23日	土	宮城県角田市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
1月13日	土	福島県南相馬市 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	
1月20日	土	宮城県内三陸道 オンライン	フィールドワーク		グループワーク	

参加する地域数に上限はありませんが、本プログラムの修了要件として、最低でも【グループA】【グループB】それぞれから一地域を選択して、受講いただく必要があります。

【グループA】【グループB】のどの地域を選択するかについては、申し込み時に希望を取らせていただきますが、申し込み状況によっては、参加する地域を調整させていただく場合もありますので、予めご容赦ください。

各地域のテーマにつきましては、公式WEBページにより順次公表させていただく予定です。カリキュラム上、第4回、5回扱いとなります。

※対面・オンラインのハイフレックスでの実施

※敬称略。内容やスケジュールは、変更になる場合があります。

[4] カリキュラム詳細 (その3)

最終発表では、個人及びグループでの地域課題の発見・設定及び解決アイデア、行動計画を発表を行います。

【最終発表会】

回	月日	曜日	場所	1限： 10時30分～12時	2限： 13時～14時30分	3限： 14時40分～16時10分	4限： 16時20分～17時50分
6	1月27日	土	仙台駅前貸会議室 オンライン	最終発表			講評・閉講式

【オンデマンド科目】

地域課題解決に繋がるオンライン講座 90分/回

カテゴリ	講義名
地域活性	地域連携スピーチ
コミュニケーション	コミュニケーションデザイン、リスクコミュニケーション
発想法	アイデア発想法、実践的収益構造の構築
事業計画	事業計画策定
グローバル	グローバルと事業構想

※対面・オンラインのハイフレックスでの実施

※敬称略。内容やスケジュールは、変更になる場合があります。

[5] 担当教員 (その1)

事業構想大学院大学の精鋭教員陣が本プログラムを担当します。(敬称略)



谷野 豊 (たにの ゆたか) 研究科長・教授 (株)分子生理化学研究所 取締役

東京大学大学院工学系研究科修了。博士(工学)。東京工科大学バイオニクス学部助教を経て、(株)分子生理化学研究所に入社。製品開発・学術部の責任者として、最新のサプリメントやアンチエイジング情報を発信しつつ、2016年より事業構想大学院大学の准教授、2017年より現職。日々、医療分野の新規事業開発に取り組んでいる。



青山 忠靖 (あおやま ただやす) 特任教授 公益社団法人兵庫県育才会理事長 (株)ジェムコ日本経営パートナーコンサルタント

地域デザインによる地域創成事業支援を専門とする。
1978年3月 日本大学芸術学部放送学科卒業、同年4月 株式会社博報堂に入社し17年間勤務。
1995年に博報堂の協働機関を起業、セールスポモーション、PR制作、雑誌編集/執筆等に携わる。
2006年以降、外資・国内コンサルティング企業3社を経て、2016年より現職。
2012年には一般社団法人地域デザイン学会の立ち上げに参画する。

LEC東京リーガルマインド大学 キャリア開発学部 非常勤講師「メディア社会論」(2004年～2007年)
専修大学商学部 地域デザイン学会寄附講座「地域と食文化」を担当(2016年)

2013年以降、父祖縁の地である兵庫県出身の大学生を支援するために、東京代々木で学生寮「尚志館」の経営にも従事している。

2019年以降、社会構想大学院大学にて、実務家教員養成課程で「実務家教員へのキャリアパス」講座を担当している。



河村 昌美 (かわむら まさみ) 教授

大学卒業後に横浜市役所入庁。福祉、広報、教育部門を経て、2004年にアントレプレナーシップ事業(庁内起業家制度、当時)により、日本初の「広告・ネーミングライツ事業(民間による行政資産の有効活用推進事業)」に関する新規事業部門を設立及び推進。現在全国の地方自治体で広く取組まれている同事業のスタンダードとなるビジネスモデルを構築。その後、2008年に新設された共創推進事業本部(現:政策局共創推進室)の設立メンバーとして、設立当初から2021年3月まで所属。社会・地域課題解決に資する公民共創(産官学連携)を専門として、数百件の様々な分野にわたる企業と行政のマッチング、コーディネート、コンサルティング、連携案件形成に携わる。

2019年からは、事業構想大学院大学事業構想研究所客員教授として、全国の自治体や企業を対象に公民共創や地域活性化・地方創生、SDGsなどに関する新規事業構想プロジェクト研究を担当。2021年4月から現職。

その他、全国での国・地方自治体や大学、学会、セミナーなどにおいて公民共創に関するアドバイザー、講師を多数担当。法務博士(専門職)。

【5】担当教員（その2）



松永エリック・匡史（まつなが えりつ ますのぶ）

特任教授

青山学院大学 地球社会共生学部 教授

ONE NATION Digital&Media(株) 代表取締役CEO

1967年東京生まれ。青山学院大学国際政治経済学研究科修士課程修了。幼少期を南米（ドミニカ共和国）で過ごし、15歳からプロミュージシャンとして活動、バークリー音楽院（ボストン）でJazzを学ぶ。その後、ビジネスコンサルタントとして、アクセンチュア、野村総合研究所、日本IBMを経て、デロイトトーマツ コンサルティング メディアセクターAPAC統括パートナー・執行役員、PwCデジタルサービス日本統括パートナーを経て現職。



奥村 隆一（おくむら りゅういち）

特任教授

(株)三菱総合研究所 キャリア・イノベーション本部

主席研究員

東京工業大学情報理工学院博士課程修了。博士（工学）。一級建築士。サイバー大学客員准教授、慈恵大学医療マネジメント講座 講師、狛江市 市民参加と市民協働に関する審議会会長。少子高齢問題や雇用・労働政策に関わる研究提言活動を行う。

【専門】労働政策、社会保障政策、少子高齢・人口減少問題



渡邊 信彦（わたなべ のぶひこ）

教授

(株)Psychic VR Lab取締役 COO

大手SIerにて金融機関のデジタル戦略を担当、2006年執行役員、2011年オープンイノベーション研究所所長を歴任。その後、起業イグジットを経て、Psychic VR Labの設立に参画。2017年2月取締役 COO。2015年度より事業構想大学院大学の教員を務めるほか、各地の地域創生プロジェクトにも参画。事業構想研究所：各プロジェクト研究担当



田中 利和(たなか としかず)

准教授

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科アフリカ地域研究専攻一貫博士課程研究指導認定退学。2014年地域研究博士。2007年よりエチオピア・アディスアベバ大学・エチオピア研究所客員研究員。頭脳循環を加速す戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム選抜研究員として、2014年にロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) へ留学。2015年より、京都大学アフリカ地域研究資料センター特任研究員、2017年より東北大学東北アジア研究センター学術研究員、2020年より龍谷大学経済学部現代経済学科准教授 (特別任用教員B) を経て、2023年より、事業構想大学院大学准教授。専門は地域研究、人類学、農学。グローバルな文脈における人間の創造性や協働について、フィールドワークによる、学際的研究・実践をおこなってきた。

【専門】地域研究、人類学、アクションリサーチ

【所属学会】日本ナイル・エチオピア学会、日本アフリカ学会、生態人類学会、文化人類学会

[7] 開講概要

開講期間

2023年9月23日（土）～2024年1月27日（土）
各回の受講時間 10:30～17:50

【基礎科目】

リアル受講（校舎）

事業構想大学院大学 仙台校
〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1
JR仙台イーストゲートビル7階
JR「仙台駅」東口直結

オンライン受講（双方向同時中継）

仙台校からMicrosoft TEAMSで同時中継します。自宅等で受講可能です。
（カメラをONにできる環境にて受講していただきます）

※教室、オンラインのハイブリッド形式のため全国より参加可能ですが、双方向によるディスカッション、グループワーク等も多く実施しますので、できれば1回は仙台校でリアル受講して、受講生同士で直接コミュニケーションをとる機会をつくっていただくことをお勧めします（交通費は自己負担）。

【実践科目】

グループA：各地域の最寄り駅で集合
グループB：仙台駅で集合

各対象地域で実施しますが、グループワークのみオンラインでの参加も可能

【最終発表会】

仙台駅周辺の貸オフィスにて開催予定

[7] 開講概要

主な受講対象

- 地域課題解決に関与の高い方
 - 新たなテクノロジーの活用を考えたい方
 - 副業・兼業及び社内起業等を進めたい方
 - 対象となる地域においてUターンやIターン等を考えている方 など
- ※原則として、社会人経験のある方を対象としております。

受講料

無料

受講料は無料ですが、それ以外の費用は基本的には自己負担となります。

※校舎までの交通費、フィールドワーク時の交通費、諸経費、調査研究のために必要な図書費等、資料費等、オンラインで参加されるのWifi通信費用等は各自の負担となります。

※課題の作成等のため、受講時はノートPCをご持参いただくことをお勧めします。

定員

40名 (参加にあたっては選考があります)

[8] 応募方法・応募締切（その1）

応募資格

下記、すべてを満たす方が応募できます。

- ①本学（仙台校）への通学または自宅でのオンラインで出席可能な方
 - ②フィールドワークへの現地または自宅でのオンラインで出席可能な方
 - ③本プログラム受講をきっかけに就職、転職または現在の仕事でのスキルアップなどを旨とする方（自身の趣味、教養のみを目的としての受講はできません）
 - ③基本的なPCスキル（ワード、エクセル、パワーポイント、メールが使える）をお持ちの方
- ※最終学歴、就業状態（求職中、フリーター等）、年齢は問いません。
※学生は応募できません（就職浪人、第二新卒の方は応募可能）

応募手順

STEP①

エントリーフォームへの入力

下記エントリーフォームに必要な事項を入力して登録してください。

URL: <https://forms.office.com/r/4HFVTZBgrf>



STEP②

メール送付（顔写真と書類2点）

①顔写真

本人の顔写真データをお送りください（スマートフォンで撮影したもので可）

②職務経歴書（本学指定様式）

③志望書（様式自由・以下の内容を盛り込んだ内容で文書又は動画にて提出）

文書サイズ：A4縦 ページ数：3ページ以内 図表：挿入可能 冒頭に氏名を記載

動画サイズ：10分以内

ファイル形式：PDF 又は MP4、Mov

ファイル名：志望書_氏名

構成：志望に至った動機、受講し取り組みたいことと背景、修了後のありたい自分、

希望するフィールドワーク先（グループA及びBそれぞれから最低一地域記載）

メール送付先：recurrent@mpd.ac.jp（事業構想大学院大学 リカレント教育事務局）

メール件名：「ネクスト地域イノベーター養成プログラム応募（〇〇〇〇（お名前）」

※写真、ファイル名にはお名前をいれてください。

※応募完了者には受付完了メールをお送りします。

[8] 応募方法・応募締切（その2）

応募締切

第1回：2023年8月25日（金）

第2回：2023年9月8日（金）

第3回：2023年9月18日（月）

※各回で応募選考を行い、内定します。

※合格／不合格の結果は締切後、約1週間以内にメールでお知らせします。

※応募内容の確認のため連絡を差し上げたり、追加でオンライン面接を実施する場合があります。

※第1回目、2回目で不採用の方は次回に応募可能です。

[9] よくある質問 (FAQ) その1

Q. 応募の年齢制限はありますか。

A. 明確な年齢の上限は設定しておりません。本プログラムは、個人での学費負担が比較的困難な若年層への教育機会を設けることも重要な目的と考えております。自らの費用での就学可能な方、または会社費用での派遣を働きかけやすいミドル層以上の方には、本学修士課程への出願をお勧めします。

Q. 修了証書はもらえますか。また、履歴書に書けますか。

A. 8割以上出席し、所定の課題や卒業制作を提出された方には、修了証書を発行します。履歴書等にも記載できます。就職活動、転職活動の際にご活用ください。

Q. 大学を卒業していませんが応募できますか。

A. 最終学歴に関わりなく、応募できます。ただし、応募時点で大学、専門学校、高校に在学中の方は応募不可です。

Q. 用事でどうしても出席できない日がありますが、大丈夫でしょうか。

A. 8割をリアル受講またはオンライン受講で受講出来れば大丈夫です。

Q. 受講して途中で合わないと思ったら辞めてもいいですか。

A. 本プログラムは、国の税金で受講者のキャリア形成を支援するものです。受講される方には、その自覚をもってしっかり受講していただくことを求めます。本募集要項の内容をよく読んで応募するかどうかご判断ください。

[12] よくある質問 (FAQ) その2

Q. 選考はどのように行われますか。

A. エントリーフォームに入力いただいた内容と、個人調書・志望書をもとに選考します。応募者の意欲を重視します。

Q. フリーランス（自営業）として活動しておりますが、応募可能でしょうか。

A. 可能です。

Q. リアル受講とオンライン受講の違いはありますか。

A. 大学（事業構想大学院大学仙台校）で受講した場合は、教員に気軽に質問したり、受講生同士でコミュニケーションしやすいという利点があります。通学可能な地域にお住まいの方は、できるだけ通学をお勧めします。オンライン受講の場合も、教員へ質問したり受講生同士のコミュニケーションができるツールも用意しますので、積極的に活用してください。

Q. 仙台以外に住んでいますが、受講できますか。

A. 受講可能です。



お問合せ先

事業構想大学院大学 リカレント教育事務局

〒983-8477 宮城県仙台市宮城野区榴岡1-1-1

JR仙台イーストゲートビル7階

TEL : 022-257-8411 (月-土 10:00-18:00)

Email : recurrent@mpd.ac.jp

個人情報の取り扱いについて

本学が取得した個人情報は、問い合わせ対応、応募、選考、プログラム運営のために必要な範囲で、事務局および担当教員が適切に管理、運用します。また、大学のイベント、行事等の案内の送付等にも使用いたします。